

RON BROWN & TIM KEPLER Gospel Joint Concert

日時：4月27日(土) 18:00 -
会場：宝塚栄光教会・礼拝堂

アメリカで活躍する二人のソウルフルなコンサートを開催します。聞く者を癒し、励ます彼らの音楽をお楽しみください。(入場無料)



ロン・ブラウン [sax] ティム・ケプラー [vocal]
スティービー・ワンダー、ホイットニー・ヒューストン、ダイアナ・ロスなど世界一流のミュージシャンのサポートサクソ奏者として活躍している。独学で日本語をマスターするほどの親日家。
テナーからソプラノまで4オクターブの声域を持つ天才ヴォーカリスト。彼の歌声を聴く多くの人が、その圧倒的なすばらしさに涙するほど。エンジェルスでの試合開始式での国家斉唱もライフワークの一つとしている。

春、光の波がおしよせてきた！！



トリビア!! 荒城の月

「荒城の月」は日本の唱歌が外国の賛美歌になった珍しい曲です。作曲者の滝廉太郎は、東京音楽学校(現在の東京芸術大学)に在学中、1900年に洗礼を受けクリスチャンとなりました。彼はそれまで抱えていた葛藤や不安から解放され、神の愛に抱かれる静かな喜びを初めて経験したことでしょう。その頃「荒城の月」は誕生し、中学校唱歌の懸賞募集で入賞したのです。彼の没後何十年も経った時、ベルギーのカトリック教会の一人の神父が、「荒城の月」の旋律に魂の深い祈りを感じ、「ケルビム賛歌」という非常に大切な賛美歌として用いるようになりました。「荒城の月」の旋律によって、神をたたえる歌が会堂に響くとき、深い静寂が満ち、聞く人々を沈黙へ誘うと言われました。滝廉太郎は賛美歌に出会った時、新しい世界を垣間見た驚きと喜びがあったに違いありません。そして音楽家としての彼は、本当は賛美歌を作曲したかったのではないのでしょうか。その思いが「荒城の月」に表れ、時を経て遠い異国に彼の願いが届いたのかもしれない。



荒城の月のモデル「竹田城趾」

教会のひとこま 楽しい工作タイム♪



みんな、真剣・・・。
今日は何ができるのかな？



うまくできたよ!!

永遠への思い

“人間が、他の動物と決定的に異なるところは何か？”ある人からそんな質問をされたことがあります。あなたはどう思われますか。答えは聖書の中にあります。聖書はこう言います。「神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた」(伝道の書3章11節)。心に永遠を思う思いが与えられたとは、神を慕う心が与えられたということであり、また救いを求める思いが与えられたということです。

動物愛護家の方からは、お叱りを受ける言い方も知れませんが、動物が魂の救いを求めて神に祈る姿を、私は見たことはありません。永遠への思いは、神が人間だけに与えておられるものです。なぜなら、私たち人間は神のかたちに造られたからです。

神のかたちに造られた私たちは、神から離れては生きていけません。それにもかかわらず、私たちは神を侮り、神を忘れ、自分勝手な道を歩んできました。神なんかなくても、十分生きていけると思いこんでいました。しかし、神から離れた私たちには本当のいのちは無く、たとえ幸せそうに見えても真の満足のない、干からびた人生でした。

この神から離れているということが、聖書

の言う罪なのです。罪とは神への反逆です。反逆しているつもりが無くても、心が真の神に向いていなかったら、反逆しているのと同じなのです。

そして神に逆らったままでは、私たちは滅んでしまうのです。そこに気がつけば、誰でも滅びたくない、救われたいと願うでしょう。その願いが永遠への思いに直結するのです。

イエス・キリストは、その願いを実現するためにこの世に来られ、十字架にかかられました。私たちの罪を一身に背負い、私たちの身代わりに十字架で死なれたのです。私たちが自分の罪を悔い改め、キリストが自分のために十字架にかかってくださったと信じるなら、誰でも、どんな罪も赦され、永遠のいのちが与えられて救われます。

あなたの心の内にも、永遠を思う思いが与えられているはず。その思いを眠らせておいてはなりません。人間らしい生き方は、与えられた永遠への思いを生かし、キリストによって罪が赦された者となり、神に向かって生きていく生き方です。あなたにも、そんな生き方をしたいと願います。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9

TEL:0797-73-6076

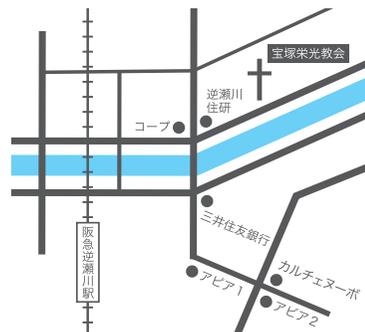
E-mail: iwama@takara-eiko.com

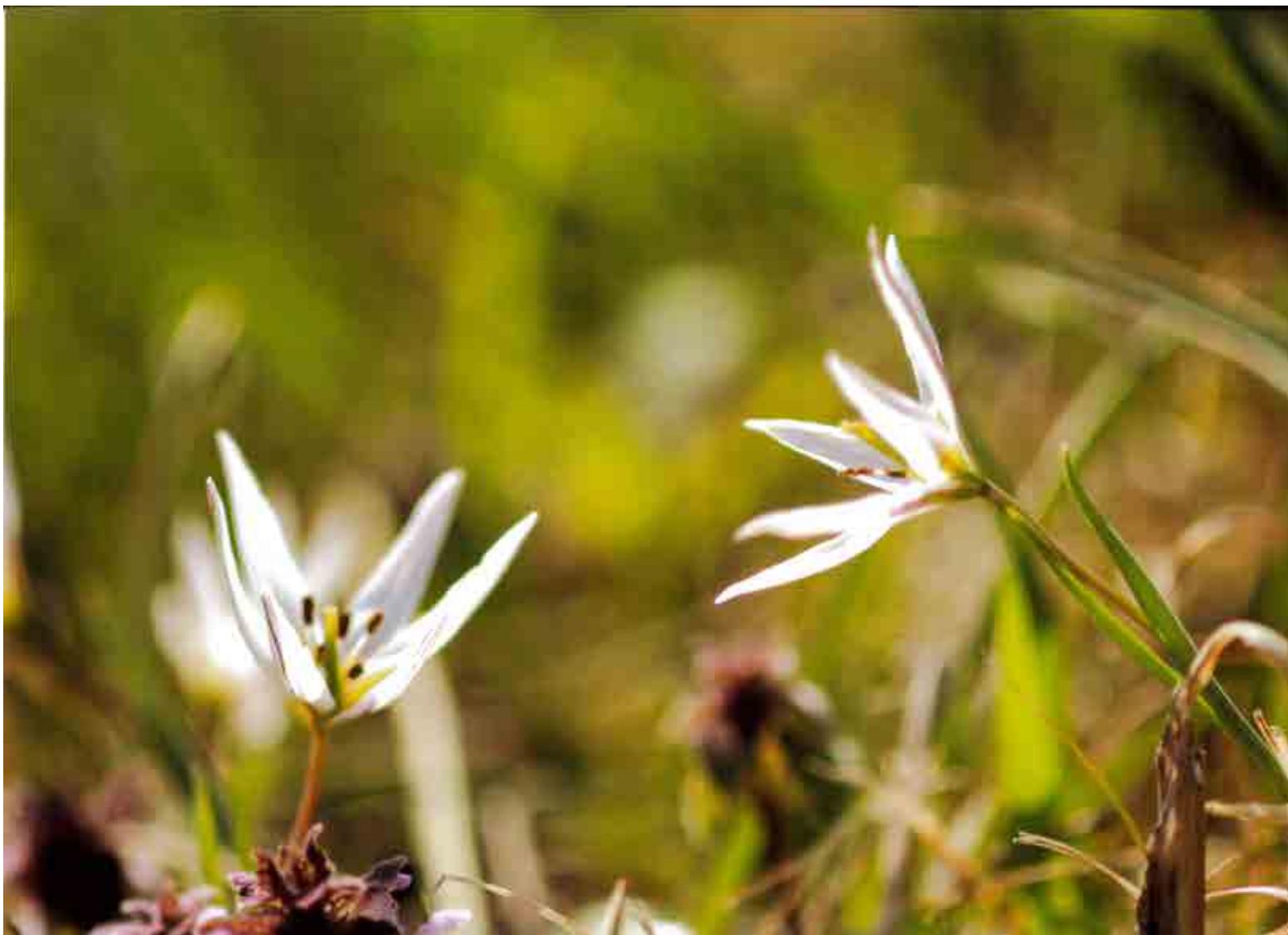
http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

ポッドキャストでも配信中！
ホームページから利用できます。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。





「甘菜」

雪が消えたばかりの
河原の土手や 田んぼの畦に
ひそんでいたかのように
アマナの小さな顔が のぞく
早春の光を 感じとると
いち早く咲く 春の草花

アマナは二月の寒い頃から 葉を伸ばし
春の時を ひたすら待っていたのだ
白い花は ちょうど粉雪が
残っているかのように 見えるという
春の野に 一番乗りを 喜ぶかのように

早春の草花は どれも小柄だ
それは 彼らの知恵
まだまだ低い気温や 淡い光の中で
花を咲かせる大役を 果たすため
だから 咲いた花は どれも目を引く美しさだ
スプリングエフェメラルと いわれる

甘菜はかつて 食用とされたという
名前にそのなごりを とどめている
今は 絶滅危惧種と されている

天にいますわれらの父よ
御名があがめられますように
御国がきますように
みこころが天に行われるとおりに
地にも行われますように
わたしたちの日ごとの食物を
きょうもお与えください
わたしたちに負債のある者を ゆるしましたように
わたしたちの負債をも おゆるしくください
わたしたちを試みに会わせないで
悪しき者からお救いください

(聖書)